

8) 大泉ジャンクション周辺地域課題検討会
 (主催者：国土交通省、東京都、練馬区)

① 募集メンバー、募集期間、検討のプロセス

課題検討会のメンバーは公募により募集

- ・対象地域 : 下記地域に在住の方
 - ・大泉学園町1, 4丁目、東大泉1～3丁目、大泉町1～6丁目、土支田2～4丁目、三原台1～3丁目、谷原4～6丁目、石神井町2, 4, 8丁目、高野台5丁目
- ・募集期間 : 平成20年2月11日～平成20年3月10日
- ・メンバー登録人数 : 123人

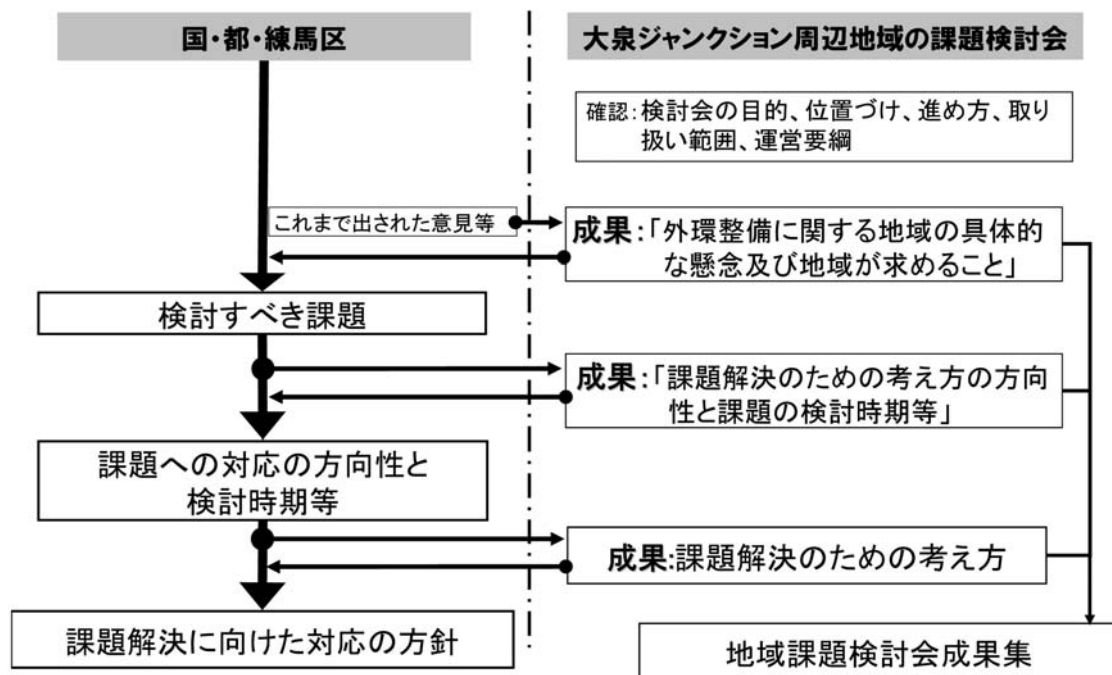


図 大泉ジャンクション周辺地域課題検討会の進め方

②これまでの開催状況

第1回 平成20年3月29日(土) 14:30~18:00 参加人数 93名

- ・ 第1回目では、まず、外環の概要、地域課題検討会の趣旨と進め方についての説明が行われました。その後、全体進行役の進行によって、メンバーがグループごとに議論を行いました。

グループ検討では、会の進め方に関する意見や地元に住まわれている方々の視点から、外環への具体的な懸念などについて意見が出されました。

【検討テーマ】

- 地域課題検討会の趣旨、検討の進め方についての確認
- 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



(写真1) 10グループに分かれて検討



(写真2) 各グループの検討結果を進行役から報告

第2回 平成20年5月24日(土) 10:00~17:30 参加人数 62名

- 第2回の開催に先立ち、午前中に現地見学会が行われ、地域課題検討会のグループ毎に分かれて、大泉ジャンクションの計画地周辺を歩き、現状や地域情報について確認しました。

また、午後の検討会では、第1回の検討内容や進め方に関する確認がなされたあと、前回に続き地域の懸念や期待することなどについて、グループ毎の検討を行いました。午前中の見学結果も活かしてテーマや場所ごとに論点を絞って話し合い、最後の全体発表で、各グループの話し合いの結果を共有しました。

【検討テーマ】

- 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること

第3回 平成20年7月13日(日) 9:00~13:30 参加人数 65名

- 第3回地域課題検討会では、はじめに参加者の皆様から前回頂いたご意見を踏まえて、地域課題検討会の進め方の考え方や改善した点などを説明し、次に前回までに議論して頂いた「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の成果を踏まえて、主催者が「検討すべき課題(案)」を提示しました。

これをもとに、グループごとに今回のテーマ「課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等」について、“場所や計画の段階ごとにどんな配慮が求められるか”等の検討を行い、全体発表を通じて各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】

- 課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等



(写真3) 10グループに分かれて現地を見学



(写真4) グループごとに、疑問点を主催者に質問し、主催者が回答

③課題検討会で頂いた意見例

○交通

- ・ジャンクションができて交通渋滞は緩和されず、抜け道となっている生活道路にさらに車が増えるのではないかと。生活道路に通過交通が流入しないような対策を望んでいる。
- ・外環が大泉から東名までつながれば、大泉ジャンクションで降りていた交通が減り、地域渋滞が少なくなることを期待する。

○環境

- ・掘り割り部分はすべて地上に出ているので、三原台中や泉新小への排気ガスによる影響が心配。
- ・換気所の性能や故障時の対応、自然環境への影響について不安がある。
- ・八の釜の池の水はきれいでホタルも見られる。湧水は昔から住民の手で守られてきたものだ。この湧水を保全してほしい。
- ・2.5マイクロメートル以下のSPM（粒子）が環境基準とされていないことを懸念している。

○まちづくり

- ・外環が整備されることにより住環境がよくなることを期待する。
- ・外環の整備により生活道路が分断されることを懸念している。

○安全・安心

- ・生活道路が外環利用者の抜け道として利用されることで安全性の低下が懸念される。特に小学校、中学校が近隣にあるため不安だ。

○工事中

- ・工事中の生活道路、通学路を確保して欲しい。
- ・工事車両による、排気ガス、粉塵、騒音が懸念される。

○用地・補償

- ・自宅が計画内にかかっており高齢のため移転や代替地のことが心配である。

○計画検討の進め方

- ・通行料金が低いと外環利用者が少なくなり、地区内に通過交通が入り込むのではないかと懸念がある。
- ・湧水や地盤への影響が心配である。地盤調査・湧水調査をしっかりと行って欲しい。
- ・外環ノ2の計画検討のスケジュールが明らかにされていないことを懸念している。
- ・住民は現状で何も分からないことが不安である（目に見えないことが不安である）。もっと具体的な情報を提示して欲しい。



「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」とりまとめイメージ図

※ これらは、課題検討会で頂いた意見の一部です。
 頂いたすべての意見につきましては、参考資料をご覧ください。

④検討すべき課題（案）

検討すべき課題（案）は、地域ごとの検討会を受けて、整理したものであり、検討会で頂いた懸念や期待について、国・都・練馬区が、外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した内容を示しています。

なお、交通、環境、まちづくりなどの観点からまとめています。

<検討すべき課題（案）の例>

○交通

- ・生活道路の交通量が増え、住宅街での渋滞の発生や住環境の悪化への懸念
- ・目白通りなどの混雑改善や地域の利便性向上への期待 など

○環境

- ・周辺に教育施設が多く、換気所やジャンクション、インターチェンジ等の施設からの大気質への影響についての懸念
- ・換気所の性能や維持管理方法、故障時の対応等についての懸念
- ・八の釜憩いの森の湧水が消失することへの懸念
- ・PM2.5など現在の環境基準で定められていない項目についての懸念
など

○まちづくり

- ・外環整備によって、住環境がよくなることへの期待
- ・既存の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念 など

○安全・安心

- ・生活道路の交通量が増え、安全性が低下するのではないかと懸念
- ・トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法についての懸念
など

○工事中

- ・工事期間中の生活道路機能の確保についてへの懸念
- ・工事に伴う騒音・振動や粉塵、工事車両による排気ガス等による環境への影響についての懸念 など

○用地・補償

- ・移転、代替地の確保、補償などへの懸念 など

○計画検討の進め方

- ・外環の整備効果が十分発揮されるのかとの懸念
- ・地質や地下水などの調査が不足しているのではないかと懸念
- ・外環ノ2の計画検討スケジュールが明らかでないことについての懸念
- ・今後も地域の住民の意見を聴き、具体的な検討を行うことへの期待 など

※ これらは、課題検討会で頂いた意見を踏まえ認識した課題の一部です。
主催者が認識したすべての課題につきましては、参考資料をご覧ください。